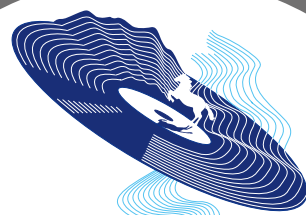


「笑顔あふれる
“レ・コードなまち”
にいかっぷ」



Niikappu Town Guide

にいかっぷ
新冠



笑顔あふれるまち

活力あるまち





音楽のまち

競走馬のまち



笑顔あふれる“レ・コードなまち”にいかっぷ

町の紹介

「レ・コード」とまちづくり

20 世紀の音楽遺産であるアナログレコードの収集から端を発した「レ・コード&音楽によるまちづくり」は、単なるレコードを活用したまちおこしだけではありません。

「レ・コード」の「レ／RE」には、頭文字のからリターン(帰る)、リメンバー(思い出)、リラックス(くつろぐ)などの意味があり、「コード／CORD」にはラテン語で「心」という意味があることから、『レ・コード／RE・CORD』とすることで『大切な心に帰る・心の再生』、さらには、『やさしさ・いやし・やすらぎ』などの大きな意味の広がりを持つ言葉(造語)として、当町が独自に生み出しました。

第5次総合計画においては、第4次総合計画に引き続きこの「レ・コード」をまちづくりの原点として位置づけ、あらゆる施策の根底に「レ・コード」の精神を反映させていきます。



「にいかっぷ」町名の由来

この地は、はじめ「ピボク」(岩の陰)の名で呼ばれていましたが、文化6年「ニカブ」に改められ、これに「新冠」の文字を当てて地名となりました。

この地に住むアイヌが「ニカブ」(楡の皮)で作った着物を着ていて、その色が茶褐色を帯びた特有のものであったからだといわれています。

町章

町章は開拓具、馬の蹄、船の錨、王冠、北のイメージを現代的に表現し、力強く躍進する本町の未来を象徴したものです。

(昭和43年3月21日制定)



笑顔あふれる

“レ・コードなまち”にいかっぷ

「レ・コード&音楽によるまちづくり」による独創的な事業を展開する本町では、長期的な展望に立った新たな視点の「第5次総合計画～笑顔あふれる“レ・コードなまち”にいかっぷ」に基づいた、まちづくりを進めています。

第5次総合計画では、少子高齢化の進行や人口減少問題、地域産業や経済の低迷などの諸課題への対応に加え、環境問題や地方分権改革の推進など、時代の潮流を的確にとらえながら、本町の独自性・優位性を再認識し、これからも住み続けたいまち、住

んでみたいまち「新冠町」を築きあげていくためのまちづくりの基本計画が示されています。

町勢要覧は、まちづくりのそれぞれの分野において“レ・コードなまち”にいかっぷを実感させるものにしたと作成いたしました。

この小冊子を通して本町の魅力に触れていただき、また、今後の発展に心をお寄せいただければと思います。

新冠町長

小竹 國昭



新冠町データ

開 町 1881 (明治 14) 年 9 月 1 日
町制施行 1961 (昭和 36) 年 9 月 1 日
人 口 5,596 人 (H 27 国勢調査)
世 帯 2,404 世帯 (")

町花 つつじ



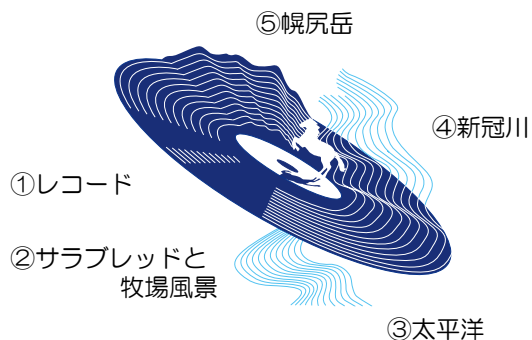
町木 ひがつら



シンボルマーク

レコードをベースに、新冠の特徴となる事象をイメージ、デザイン化したものです。

- ①町民の夢や大切な思い出を詰め込んだレコード
- ②夢と希望をのせて走るサラブレッドと牧場風景
- ③すべてを優しく包み込む母なる太平洋
- ④潤いと恵みを運ぶ新冠川
- ⑤まちを見守る雄大な幌尻岳



新冠のあゆみ

- 1869 (明治 2) 蝦夷地を北海道と改称
北海道に 11 ヶ国 86 群が置かれる
この地区を日高国新冠郡と命名
- 1877 (明治 10) エドウィン・ダンが新冠御料牧場を設計整備
- 1881 (明治 14) 新冠郡に戸長役場設置される (新冠開町)
- 1947 (昭和 22) 新冠御料牧場が新冠種畜牧場に改称
新冠村は全面的に解放され、入植が始まる
新冠農業協同組合、新冠漁業協同組合を設立
- 1952 (昭和 27) 十勝沖大地震で新冠泥火山から泥が噴出
- 1955 (昭和 30) 新冠川が氾濫、開基以来の大洪水となる
- 1961 (昭和 36) 町制が施行される
- 1981 (昭和 56) 新冠町開町 100 年
- 1994 (平成 6) ナリタブライアン号、新冠初の 3 冠馬となる
- 1996 (平成 8) 日高管内で初めて温泉湧出
- 1997 (平成 9) レ・コード館、レ・コードパークオープン
- 1998 (平成 10) 新冠温泉レ・コードの湯オープン
- 2011 (平成 23) 新冠町開町 130 年、町施行 50 年

新冠町民憲章 (昭和 51 年 9 月 28 日制定)

わたくしたちは、日高の秀峰幌尻岳をのぞみ、緑ゆたかな大地と、茫洋たる太平洋にはぐくまれた新冠の町民です。

わたくしたちは、先人の開拓精神を受けつぎ、たくましく未来に向かって躍進する住みよいまちをつくるため、この憲章を定め、実行します。

- 1 いつも、丈夫なからだをつくり、いきいきと働く町にします。
- 1 いつも、明るいあいさつをかわし、きまりを守る町にします。
- 1 いつも、たがいいはげまし合い、助け合う町にします。
- 1 いつも、すすんで学び、文化の高い町にします。
- 1 いつも、まわりを美しくし、自然を大切にする町にします。



成人式で町民憲章を朗読する新成人

笑顔あふれる“レ・コードなまち”にいかっふ

快適で暮らしやすい・ 潤いある環境を創出するまちづくり

自然は時代に継承する財産

生活環境の変化や産業公害などによる環境破壊、人間を優先するがための自然破壊など地球環境の危機が叫ばれている昨今、私たちも身近な問題としてこれらに取り組んでいかなければなりません。

本町は、幌尻岳をはじめ美しい日高山系を望み、広大な森林や新冠川、生息する動植物、そして恵みの太平洋など豊かな自然環境に恵まれており、これらは次代に継承しなければならない財産です。

本町では、温室効果ガスの削減に対する取り組みを進めるとともに、森林の適切な保全による水資源のかん養や地球温暖化防止への貢献、豊かな自然環境を基軸とする新冠らしい景観の形成を図り、潤いのあるまちづくりを目指します。



美しい景観と住環境・憩いの環境づくり

役場に隣接するレ・コードパークは、安全で快適に過ごせる市街地の中核的な公園として、町内の子どもからお年寄りまで幅広く利用されており、観光客のやすらぎスポットともなっています。

また、魅力ある新冠の住環境をさらに拡充するため、平成19年からは新冠温泉レ・コードの湯のそばに、新たな住宅地を造成しました。市街地へのアクセスも良く、高台の立地は災害時も安心の住宅地として人気です。

町では、町内に住宅を取得した移住者には各種補助制度を用意し人口確保対策にも力を入れています。

人口確保の取り組みと レ・コードの森ニュータウン

町では定住移住施策として様々な取り組みをしておりますが、その一つが新冠温泉にほど近い高台に造成した「レ・コードの森ニュータウン」。

木々に囲まれた北海道らしいロケーションには道内外から移住者が集まり、用意した91区画は完売しました。



新冠温泉「レ・コードの湯」

日高山脈を背景に、雄大な太平洋を望み、四季折々の自然に恵まれ、心も体もリフレッシュできるレ・コードの湯。

隣接する宿泊施設「ホテルヒルズ」では、地元の海の幸はもちろん、四季折々の料理を提供し、客室やレストランからは新冠ならではの自然豊かな眺望が楽しめます。



聴体験文化交流館「レ・コード館」

100年前のレコードを聴くことができる蓄音機コンサート、3.4mの巨大スピーカーで懐かしのレコードを聴くことができるレコードコンサートなど、思い出と新たな発見がたくさん詰まったミュージアム。

500席の客席を有する町民ホール、図書プラザ、シアター、研修室なども併設しています。



豊かな自然環境づくり

豊かな自然環境づくりは一朝一夕には無し得ない大きな事業のひとつといえます。人と自然が心地よく触れ合うことができるのも、地道な環境保全があってこそ。また、自然が自然らしくあるように、触れ合う私たちのモラルを徹底することも大切です。

町内には、判官館森林公園をはじめ、四季折々の自然を満喫できる日高の山々、フィッシングポイントが多数ある新冠川など、豊かな自然環境に恵まれた地域がたくさんあり、多くの観光客が訪れるところとなっています。

今後とも、環境保全を図りながら豊かな自然を実感し楽しめる機会を提供し、日常生活でも自然にふれあえる憩いの場を整備充実するなど、豊かな自然と共生する環境づくりを進めていきます。



観光資源と観光施設の整備

本町の観光資源は、海、山、川、牧歌風景などの豊かな自然環境と美しい景観に代表され、特に牧場が立ち並ぶサラブレッド銀座は、軽種馬生産地ならではの人気の観光スポットです。

また、「レ・コードなまち」のシンボルである、レ・コード館には、20 世紀の偉大な音楽文化であるレコードが約 100 万枚収蔵されており、最高の音響システムの中で色あせることのないレコードの音を存分楽しむことができます。

ホロシリ乗馬クラブや判官館森林公園、パークゴルフで思いっきり遊んだあとは、旅の疲れを癒しに温泉へ。新冠温泉レ・コードの湯は日高管内初となる天然温泉で、露天風呂からは太平洋に沈む夕陽を望むことができます。



にいかっぷホロシリ乗馬クラブ

北海道でも最高のロケーションを誇り、大いなる自然の中で馬と触れ合うことができる乗馬クラブ。

太平洋を見渡す丘の上に位置し、初心者でも気軽に楽しめるコースから、上級者向けのものまで多彩なコースを用意しています。



サラブレッド銀座

国道 235 号線から山側に向かう約 8 km の道程にたくさんの牧場が集まった人気の観光スポットは、「サラブレッド銀座」と呼ばれ、四季を通して牧歌的風景が広がります。



判官館森林公園

判官岬から内陸に広がる約 66ha の広大な公園には、遊具やアスレチック、バンガローやキャンプ場、テニスコートやバーベキューハウスなどを整備。

自然豊かな遊歩道は、希少な動植物の観察スポットとして人気です。



笑顔あふれる“レ・コードなまち”にいかっふ

健康で安心して暮らせるまちづくり

互いに支え合う地域福祉

急速な少子高齢化や核家族化の進行により、高齢者世帯やひとり親世帯が増加しているほか、障がいのある方の地域居住も拡大しており、福祉協力体制の確立が不可欠となっています。

福祉の基本は、相手の声に耳を傾け、一緒に「しあわせ」や「よりよい生き方」を考え、必要なお手伝いをすることにあります。町では、福祉に対する町民意識の高揚を図り、さまざまな福祉サービスを行っています。

また、いくつになっても、健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、健康増進・健康維持・病気の予防となる取り組みも展開しています。



超高齢者社会への対応

全国的に急速に高齢化が進行する中、平成28年3月の当町の高齢化率は30.5%と、全道・全国と比較しても高く、町民の約3分の1が65歳以上という状況となっています。

この先、高齢者世帯が増加し介護や生活支援ニーズの急増が予想されますが、高齢者も自らの能力を活かし、可能な限り健康で自立した生活を送りながら、自らが生活支援の担い手として活躍していくことが期待されます。

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、高齢者がいつまでも明るく安心して暮らしていける、温もりあるまちづくりを目指します。

新冠町社会福祉協議会

地域福祉を推進する中核的な組織として、福祉サービスの相談、ボランティア活動の支援など様々な活動を行っています。年に2回、地域ボランティア団体と協力して実施している一人暮らしの高齢者対象の昼食会は、いつも多くの参加者が集まり人気の事業となっています。



子育て支援センター

子育てをする親の仲間づくりの場所として、子育てに関する疑問や悩みを相談したり、情報交換ができる場所として、毎日たくさんの親子に利用されています。

また、子どもの一時預かりも実施しています。(認定こども園に併設)



子ども発達支援センター

「あおぞら」

子どもの様々な発達の相談を受けたり、支援を行っています。

子どもが自分らしく「生きようとする力」を、社会でよりよく「生きていける力」に育つよう支援していきます。



健康で笑顔あふれる毎日

いつでも明るく、楽しく、元気よく暮らすことは、私たちの共通の願いです。

町では、各種事業計画に基づきながら、年代や生活環境に応じた各種検診活動や保健指導を推進しています。特に、生活習慣病を予防するため、特定健診やがん検診の受診率の向上を図り、効果的な保健指導を提供していきます。

また、子どもは地域に喜びや楽しみを与え、元気なまちをつくる力となることから、妊婦健診や乳幼児健診、家庭訪問などによる育児支援の充実を図り、安心して出産・育児ができる環境を提供します。



安全な住環境と衛生的な生活基盤づくり

災害や事故の多様化・大規模化や住民ニーズの多様化に対応するため、また、自然災害などあらゆる災害に迅速かつ的確に対応するため、近隣町と連携し消防・救急体制の充実を図ります。

また、住民の生活に欠かすことのできない水を安全かつ安定的に供給できる体制を維持するとともに、下水道や合併処理浄化槽の整備を計画的に進め、衛生的で、快適な生活環境づくりを進めています。



出産・子育ての応援

町内に産婦人科は無く、健診や出産には新ひだか町や苫小牧など町外に通院する必要があります。

そこで、町では、妊婦健診に係る交通費や出産時に係る宿泊費の助成を行っております。また、妊婦相談・母親学級の開催や不妊治療などに対する助成も行っています。



介護予防事業の取り組み

要支援・要介護状態になる前からの介護予防を推進するため、「お喜楽☆おたっしゃ塾」「脳の元気アップ教室」など運動や認知機能の維持向上を図る教室を、地域に出向いて開いています。



地域交通網の整備

学生や高齢者にとって、通学・通院などに使用するバス交通網の整備は必要不可欠です。

住民のニーズを的確に把握し、山間部、市街地、近隣町を結ぶ乗合バスを町内全域で運行しています。



笑顔あふれる“レ・コードなまち”にいかっふ

学校・家庭・地域社会が 一体となったひとづくり

たくましく生きる力の育成

新冠の未来を担う子ども達が、夢や希望を持ち健やかに成長していくことができるよう、「知・徳・体」のバランスのとれた「生きる力」を育む教育を進めています。

平成 23 年に開設した幼保連携型認定こども園ド・レ・ミでは、0 歳から就学前の子どもに連続性のある教育と保育環境を提供します。

また、小中学校においては、地域や時代のニーズに応じ、学力の向上や教育環境の整備などの教育施策の推進に力を入れています。



町民のニーズに応えた社会教育の推進

社会の変化と個々のライフスタイルの多様化の中で、人々が生きがいと潤いのある人生を過ごすため、主体的な学習活動を通じて自らを高め、心を豊かにしていくことが重要です。

本町の豊かな自然環境や地域の教育資源などを活かし、学校・家庭・地域社会が一体となった「ふるさと力（地域教育力）」の向上と人とのネットワークを生かした生涯学習社会を目指します。

図書プラザ

幼児から高齢者まで幅広い年代の方々の「知る」「学ぶ」をサポートする図書プラザ、蔵書数は約 9 万点です。

地域のサークルなどとも連携し、定期的に絵本の読み聞かせなども行っています。



個性あふれる学校給食

学校給食は、子どもたちの心身の健全な発達に必要不可欠です。

本町では、認定こども園をはじめ全ての幼小中学校で自校調理方式を取り入れ、地域の特徴を生かした安心・安全で美味しい給食を提供しています。



レ・コード館ジュニアジャズバンド

平成 15 年に設立されたレ・コード館ジュニアジャズバンドは、地元の小中学生で構成するビックバンドです。

地域の軽音楽愛好会ブルーホースや札幌のプロ音楽家などによる指導を受け、今では、町内外から演奏の依頼があります。



音楽・芸術文化活動の推進

「レ・コード&音楽によるまちづくり」を町民が実感できるよう、当町ではユニークな音楽文化活動に取り組んでいます。その一つが、昭和音楽大学との連携事業で、中学校吹奏楽部や町民音楽団体への技術指導や合同コンサートを行っています。

また、音楽を通して子どもたちの健全育成を図ることを目的に、レ・コード館ジュニアジャズバンド運営事業なども行っています。



スポーツを通した健康づくり

町民の豊かなスポーツライフを実現するため、町民スポーツセンターや町民グラウンドを開設しています。また、地域スポーツ推進のため、学校開放事業を推進し、生涯スポーツの構築を図っています。

町民が生涯にわたりスポーツやレクリエーション活動に親しむことができるよう、関係団体とも連携をとりながら、年齢層に応じた各種スポーツ教室、軽スポーツ普及などに取り組んでいます。



歴史と文化遺産の継承

町内には、北海道指定の天然記念物である「新冠泥火山」をはじめ、埋蔵文化財として43か所の遺跡が確認されるなど貴重な文化遺産があり、また、新冠民俗文化保存会や新冠判官太鼓保存会などが中心となり、郷土芸能・伝統技術を継承しています。

町では、これら文化財の保護や保全に努め、文化保護団体の活動をサポートをしています。

郷土資料館は、町民が郷土の歴史や先人たちの苦勞を知るため、また、広く紹介するために開町100周年記念事業として建設しました。今後も自然体験学習の場、郷土学習などの生涯学習の場として積極的に活用していきます。

新冠判官太鼓保存会

昭和45年に郷土を愛する青少年の育成と、郷土新冠の発展に寄与することを目的に創設されました。

現在は、道内外で数多くのイベントに出演する傍ら、一年を通して稽古に励み、判官太鼓の保存伝承と後継者の育成に情熱を傾けています。



新冠町文化協会・新冠町体育協会

本町には、絵画や習字、舞踊や合唱など文化活動をしている団体、本格的なスポーツや軽スポーツに取り組む団体が数多くあります。

健康で潤いある生活を送るため、文化協会・体育協会も積極的にサークル活動をサポートしています。



スポーツセンター・トレーニングルーム

町民のライフステージに合わせて、誰もが、いつでも、いつまでも楽しむことができる豊かなスポーツライフを応援します。

また、健康管理、健康増進を促進させるため、充実した設備のトレーニングルームも併設しています。



笑顔あふれる“レ・コードなまち”にいかっふ

力強く安定した産業づくり

農業を中心に足腰の強い産業づくりを

主な作目は、軽種馬、酪農、畜産、畑作、稲作と、本町の農業生産は、多岐にわたっています。

近年は、そ菜・肉牛の生産が伸びており、中でもピーマンは全道一の出荷量を誇り、売上高も年々増加しています。また、アスパラや水稻も食味が評価され市場性が高まっています。肉牛は黒毛和牛の生産基盤の確立のため、育種価を用いた血統改良を重ね素牛産地としてのブランド化を目指しています。

軽種馬生産では、国内トップクラスの名馬を送り出すサラブレッドのふるさととして知られており、地方競馬の活性化対策や優良繁殖牝馬導入に対する支援、草地整備の促進など、強い馬づくり対策に取り組んでいます。



後継者・新規就農者の受け入れと育成

農業経営には、永年にわたり積み重ねられた経験と新しい技術、鋭い経営感覚が必要となります。

本町においても、少子高齢化や後継者不足という問題を抱える一方で、近年はライフスタイルの多様化や自然志向の高まりとともに、都会からUターンして農業後継者となる人や新規就農を希望する若者が増えています。

町では、継続的で安定した農業基盤を維持するため、後継者・新規就農者に対し農協をはじめとする農業関係団体などと連携した支援を行います。

新規就農者の受け入れ

新冠の基幹産業は一次産業です。本町の次代を担う農業者、新規就農を希望する若者の受け皿として、地域おこし協力隊などの制度を積極的に活用し、育成・支援体制を強化しています。



サラブレッドのふるさと

全国でも有数のサラブレッドの産地である新冠町。ここで生産されたサラブレッドが全国で活躍できるよう強い馬づくりに取り組んでいます。

また、ホッカイドウ競馬のさらなる発展のため、支援協力を継続します。



酪農とホロシリ牛乳

緑の草原でゆったりと育つ乳牛。新冠の酪農の歴史は長く、今でもたくさんの牛乳を生産しています。

町内の酪農家が自社生産する「ホロシリ牛乳」は、低温殺菌・成分無調整で作られ、風味豊かで飽きのこないサラリとした飲み口が特徴です。



町を支える力、漁業・林業

新冠の漁業は、サケ、タコ、カレイ、カニ、ナマコ、ツブガイ、コンブ、ホッキガイなどで、沿岸漁業が主体です。また、天然資源を守るために、タコの増殖やマツカワ、ホッキ貝の種苗放流など、資源管理型漁業とつくり育てる漁業にも力を入れるなど、当町の漁業は規模は小さいながらも、魚種は豊富で季節の味覚は観光客に好評です。

総面積の77%が森林の新冠の林業は、製材や合板加工が主体で長期的な視野に立った保全と育成を進めています。



地域に根差した魅力ある個店、商工業

海から、大地からの豊かな恵みが、新冠らしいふるさとの味覚に生まれ変わります。

第一次産業の町として、地域の新鮮な食材を活用した商品づくり、車を持たない高齢者などへの移動販売の促進など町民のニーズを的確に把握し、毎日の暮らしに密着した魅力ある商環境づくりを進めています。

ふるさと祭・ふるさと盆踊り

新冠の盛夏を告げる「にいかっふふるさと祭」は毎年7月中旬に行われ、たくさんの出店が立ち並ぶ中、氷川若衆会の周慶みこしの練り歩きや俵かつぎレース、歌謡ショーなど2日間に渡り多彩な催しが繰り広げられます。

また、お盆には「にいかっふふるさと盆踊り」が開かれ、やぐらの周りは30年ぶりに復活した「新冠音頭」を踊る人たちで賑わいます。

新冠和牛の取り組み

近年、海外でも人気がある和牛ですが、新冠でも質の高い黒毛和牛の生産が行われています。

町では、和牛センターや町有牧野において飼養管理技術の実証を行いながら、さらに高い質の和牛の生産に取り組んでいます。



6次化とピーマンソフト

町では、6次産業化を推進しており、特に道内一の出荷量を誇るピーマンを使用した商品開発に力を入れています。

平成27年から販売を始めたピーマンソフトクリームは、ピーマン特有のほのかな苦みが人気で、週末には多くの観光客が買い求める道の駅の人気商品となっています。



地場野菜の販売・軽トラ市

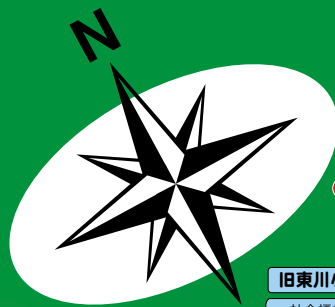
町内で生産された安心・安全な野菜が購入できる「軽トラ市」は、町観光協会が主催し、毎週土曜日にレコード館前で開かれています。

ピーマンにアスパラ、トマトやナスにかぼちゃなど、地元の生産者が軽トラック一杯に野菜を載せて、旬な野菜を販売します。



NIKAPPU TOWN GUIDE MAP

新冠町 案内マップ



公共施設等

レンタカー等

宿泊施設等

味どころ

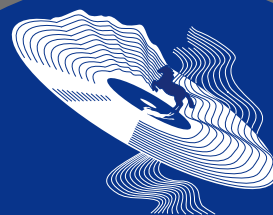
ガソリンスタンド

二十間道路

東泊津

西泊津ヒルズパーク
パークゴルフ場
☎47-4466

至 新ひだか町静内
えりも方面



Niikappu Town Guide

にいかっぷ
新冠